

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 眼表面疾患における視機能と前眼部光干渉断層計の検討
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部視覚科学系眼科学分野（附属板橋病院眼科）・准教授 林孝彦
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 10（西暦 2028）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 機関の長の初回許可日～2027 年 12 月 31 日の期間に眼科で眼表面疾患の診断を受けた方
＜研究の目的＞ この研究は眼表面疾患における視機能（視力、見えやすさ）を決定する因子の解明を目的としています。眼表面疾患の診断、治療には、通常は臨床経過、医師による顕微鏡での直接の診察（細隙灯顕微鏡検査、スリットランプなどと言います）、前眼部光干渉断層計（OCT という器械です）、などを用いて総合的に行っています。特に、近年前眼部光干渉断層計による高次収差や散乱といった因子が注目されています。本研究を実施し、視力検査との関連性を明らかにすることで、視力が不良な場合の原因の特定や視力の改善に役立てると考えられます。
＜研究の方法＞ 診療毎に、前眼部光干渉断層計を撮影します。保険診療で行う検査項目の為、通常の診療の範囲内を逸脱していません。（健康保険適用）研究結果はほかの検査結果と照合し、関連性を把握するために使用します。診察間隔は病状によって異なりますが、およそ診察時に毎回撮影します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 前眼部光干渉断層計より得られた画像データ、数値データ (CSV)、視力検査の数値 (論文公表後は修正できません。)
＜研究を実施する機関組織＞ 日本大学医学部視覚科学系眼科学分野（附属板橋病院眼科）・准教授：林 孝彦 きくな湯田眼科・院長：湯田 健太郎
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院 東京都板橋区大谷口上町 3 0－1 診療科：視覚科学系眼科学分野

研究責任者（氏名）：林 孝彦

電話：03-3972-8111（代表）

連絡先：眼科科 医局 内線：2532 PHS：8631

FAX：03-3972-8111

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方